

令和元年度実施
西条市まちづくりに関する市民アンケート報告書（速報版）
要点取りまとめ

令和元年 7 月 1 9 日

西条市自治政策研究所

○ 現在の西条市での生活について

（１）あなたにとって、西条市は住みやすいまちですか

- ・ 前回調査（平成 25 年 5～6 月）と比較し、わずかながら住みやすいと感じている市民の比率が高くなりました。（P7）
- ・ 全体的に住みやすいと感じている市民が多い中で、「20～24 歳」「30～34 歳」で住みにくと感じている傾向がみられました。また、25～34 歳では男性が住みにくと感じている傾向がみられます。（P8）

（２）あなたは、今後も西条市に住み続けたいですか

- ・ 前回調査と比較し、住み続けたいと感じている比率はほぼ同じになりましたが、「ぜひ住み続けたい」と回答した方の比率が低下しました。（P13）
- ・ わずかながら男性が住み続けたいと感じている傾向があります。（P13）
- ・ 34 歳以下の年齢においては、若いほど住み続けたいと感じていない傾向があります。特に、「19 歳以下」では低い傾向です。（P14）
- ・ 職業別では、「学生」の住み続けたいと感じる比率が特に低くなりました。（P16）

（３）あなたは西条市に愛着や誇りを感じていますか

- ・ 前回調査と比較し、愛着や誇りを感じている市民の比率が 4.8%ポイント高くなりました。また、感じていない市民の比率も 1.9%ポイント低くなりました。（P19）
- ・ わずかながら女性が愛着や誇りを感じている傾向があります。（P19）
- ・ 若い年齢で愛着や誇りを感じている比率が低くなる傾向にあります。（P20）

（４）西条市では専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると思いますか

- ・ 前回調査と比較し、市民が専門的できめ細やかな住民サービス（以下、「良好な住民サービス」と称します）が提供されていると感じている傾向にあります。新市発足後の住民サービスは安定化しつつあると判断できます。（P25）

- ・ 女性が良好な住民サービスが提供されていると感じている傾向があります。(P26)
- ・ 年齢が若いほど良好な住民サービスが提供されていないと感じている傾向にあり、特に 20～34 歳の男性が提供されていないと感じている傾向があります。(P26)

(5) 西条市では市民の交流は活発だと思いますか

- ・ 前回調査と比較し、市民の交流が活発だと感じている傾向があります。新市発足後の市民交流は積極的に行われるようになっていないと判断できます。(P31)
- ・ 女性が市民の交流が活発だと感じている傾向があります。(P31)
- ・ 若い年齢では市民の交流が活発だと感じている傾向があります。一方で、「25～34 歳」については市民の交流が活発だと感じていない比率も高く、特に、女性がそう感じている傾向があります。(P32)
- ・ 家族構成が大きいほど市民交流が活発だと感じている傾向があります。また、夫婦のみの方では市民の交流が活発ではないと感じる方の比率も高くなりました。(P35)

(6) 西条市では産業や経済活動は活発だと思いますか

- ・ 前回調査と比較し、産業や経済活動が活発だと感じている傾向があります。新市発足後の経済活動は安定化しつつあると判断できます。(P37)
- ・ 男性が産業や経済活動が活発だと感じている傾向があります。(P37)
- ・ 年齢が若いほど産業や経済活動が活発だと感じている傾向がある一方で、20～29 歳では、そう感じていない方の比率も高くなりました。(P38)

(7) 西条市では地域の声が行政に反映されていると思いますか

- ・ 前回調査と比較し、地域の声が反映されていると感じている傾向があります。新市発足後において、地域の声は少しずつ反映され始めていると判断できます。(P43)
- ・ 60 歳以上では、男性が反映されていないと感じている傾向があります。一方で、20～29 歳では、女性が反映されていないと感じている傾向があります。(P43-44)

(8) 西条市では公共料金などの住民負担についてどのように感じますか

- ・ 決して市民の負担感が小さいとは言いきれませんが、市民の負担は一定レベルで落ち着いていると判断できます。(P49)

- ・ 60 歳以上を中心に、男性が負担を大きいと感じている傾向があります。(P50-51)
- ・ 年齢が若くなるほど負担が小さいと感じている傾向がありますが、35～44 歳の女性では負担を大きいと感じている方と小さいと感じている方の双方に分かれる傾向があります。(P50)

(9) 今から約 20 年後の 2040 年頃の西条市の未来をどのように感じていますか

- ・ 市民の約半数の方が西条市の未来に対して何らかの不安を感じています。(P54)
- ・ 特に 20～24 歳が西条市の未来に不安を感じている傾向があります。特に、20 歳代の男性が西条市の未来に不安を感じている傾向があります。(P55-56)

(10) 特に不安とを感じる課題を選択してください

- ・ 「人口減少による都市機能の低下」「自然災害（地震など）の到来」「地域公共交通の衰退」の順で回答した比率が高くなりました。(P59)
- ・ 男性は「人口減少による都市機能の低下」が突出して高く、女性は「自然災害（地震など）の到来」「地域公共交通の衰退」が高くなりました。(P60)
- ・ 全体的に「人口減少による都市機能の低下」と回答した比率が高く、年齢が若いほど「自然災害（地震など）の到来」、逆に年齢が高いほど「地域公共交通の衰退」と回答した比率が高くなりました。(P60)

○ **施策に対する市民の満足度・関心度**

- ・ 各施策に対する市民の満足度と関心度を数値化して領域別に落とし込んだ図表を作成しました。(P62-63)